ふたみきた

平成３０（２０１８）７月２日
７月号
明石市立二見北小学校
学校だより　第４３６号

朝目覚めて　今日の命が始まります

校長　赤松 弘一



先日のオープンスクールにはたくさんの皆様にご来校いただきましてありがとうございました。北っ子たちの普段の学校生活をご覧になられて、お気付きことなどありましたら遠慮なくお知らせください。よろしくお願いします。

二見北小学校では先週から「命の週間」として、道徳の時間などを通して「命・生きること」の大切さを学んできました。

命って何でしょう。目に見えますか、どこにありますか、なくなるとどうなりますか。命は目に見えません、どこにあるのかわかりません、でもなくなると死んでしまいます。命は目に見えないけれどあります。それは私たちの持っている時間です。時間は目に見えません、私たちの命は生きている時間です。それには限りがあります。

時間をもう一度命と言い直してみましょう。自分の命には限りがあります。自分のために使って、良い人生だったなと思って終われれば幸せですね、それだけではなく、もし他の人の幸せのためにあなたの命を役に立てたらどうでしょう。その人も幸せになりますが、あなたも幸せなはずです。そしてその人はあなたのことをとても感謝し、ずっと大切に覚えている事でしょう。あなたの命が終わっても、あなたはその人の心の中に素晴らしい人として生き続けています。こんな命の輝き方もとてもまぶしいですね。

消しゴムを最後の小さなかけらまで使い切ったことがありますか？短くなって書けなくなった鉛筆を、工夫して最後まで使い切ったことがありますか？

大切に使うというのは、しまっておくことではありません。鉛筆なら字や絵を書くことに、ケシゴムならまちがった字や線を消すことに、無駄なく最後まで使い切ることです。穴をあけたり、小さくちぎって投げたり、短くなったら捨てたりすること、これは鉛筆やケシゴムの命を粗末にすることです。命を大切にできていないということです。



ナワシロイチゴ（北校舎裏にて）

これからまだまだいろんなことを学んで、自分の夢を実現したり、いろんなことに挑戦するたくましい人になって、他の人の役に立ったりできる命を皆さんは持っています。それをなまけたり、嘘をついたり、人をいじめたりしては、命の値打ちがありません。また不注意な事故で失ってはいけません。それは命を無駄にすることです。絶対に道路にとび出したり、ため池や川などの、危険な所に行ったりしないでください。

一人ひとりが持っている命を大事に使って、自分らしく輝かせてください。

さて、１学期も間もなく終わり、梅雨明けの眩しい陽射しとともに子どもたち待望の夏休みになります。保護者の皆様には今学期も何かとご協力いただきありがとうございました。今年度、本校は地域ぐるみで子どもの健やかな成長を支援するためのコミュニティー・スクールの取り組みを始めています。2 学期もご家庭や地域の皆様と共に歩んでまいりますので、これまで同様にご理解ご支援をよろしくお願いします。

今月の予定

日	曜	
2	月	
3	火	命の集会
4	水	6 年放送音読　　F タイム（サークル）
5	木	5 年放送音読　　1 年きらきらの会
6	金	4 年放送音読
9	月	3 年放送音読
10	火	2 年放送音読　　代表委員会
11	水	1 年放送音読
12	木	
13	金	子ども安全の日　　個人懇談会（13 時 45 分下校）
16	月	海の日
17	火	個人懇談会（13 時 45 分下校）　スクールカウンセラー来校
18	水	学期末大掃除　　6 校時授業（2～6 年）
19	木	月曜時間割　給食最終日
20	金	終業式（11 時下校）

夏季休業中の予定
図書室開放：別途連絡　　水泳教室・チャレンジ教室：7 月 24 日(火)～26 日(木)
プール開放：別途連絡　　学童水泳記録会練習：別途連絡
学童水泳記録会：8 月 6 日(月)　　2 学期始業式：9 月 3 日(月)

二見中　トライやるウィーク　６月４日～６月８日

二見中学校の２年生２０名が、トライやるウィークを二見北小学校で実施しました。１、２年生と一緒に楽しく勉強したり学校の外に探検に行ったり、プール清掃などの活動に参加したり、二見中の生徒たちが積極的に活動する姿が見られました。給食や掃除の時間も一緒に過ごし、楽しいひと時になりました。





ありがとうございました

★6 月末の日曜日に、岡の上自治会長の大砂様と北小前自治会長の瀬河様が校舎南のわかば学習園周辺の雑草をきれいに刈り取ってくださいました。北っ子、特にわかばの北っ子は大喜びです。お忙しいお仕事の合間に大変な作業だったと思います。コミュニティー・スクールとして本校が地域の方々に支えていただいていることに、職員・児童そろって感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

命の週間

６月２６日からの命の週間に道徳の授業などで命の大切さについて学びました。北っ子の感想を紹介します。

・からだをさわったらあたたかかったので、いきているとおもいました。だから、たのしいことがおこります。（１－１　　）
・いきているから、ほっぺたがやわらかいです。いきているから、むねがあったかいです。（１－２　　）
・いきていることがうれしいです。じぶんがうごいているので、いいことがいっぱいできます。（１－３　　）
・じぶんをさわると、しんぞうがどくどくしました。おともだちのてをにぎると、あたたかかったです。（１－４　　）

１年生は道徳で、「生きている自分」を学習しました。生きているからできることを出し合ったり、自分をさわったりして、生きていることについて考えました。

わたしは、いのちの大切さを、前よりもっと考えました。わたしたちが、今、生きているのはかぞくやまわりの人のおかげだと気づきました。わたしは、よく、ひんけつをおこします。そのとき、かぞくは、とても、しんぱいそうな顔をしています。わたしは、かぞくのしんぱいそうな顔を見て、早く元気にならなくっちゃと思って、元気になります。かぞくがわたしに元気をくれます。だから、いのちは、大切にしようと思いました。わたしは、「これから、元気にけんこうに生きていこう。」と思います。（２－３　　）『いまのぼく、むかしのぼく』

わたしは、「光祐くんのアサガオ」というお話を読みました。光祐くんは天国に旅立ってしまいましたが、アサガオを残して毎年お母さんが育て、種を同じ病気の人へ配っているそうです。その文をみて、命は戻ってくるものじゃない。命はひとつしかなので、今生きていることを大切にして、命を大事にしていきたいと思いました。（３－２　　）『光祐くんのアサガオ』

宮越由貴奈さんが書いた詩で心に残っているのは、「私は、命が疲れたと言うまで生きようと」と書いたところです。もうこんなに入院や大きな手術を繰り返していたら、もう弱音しか出せないと思います。でも、由貴奈さんは自分から前向きなことを言って、自分はもちろん友だちまで幸せにしているからそこがすごいと思いました。これから僕は、命の大切さを忘れずに一日一日を大切にして生きていきたいです。（４－２　　）『命　せいいっぱい生きる』

私は命があることを幸せなことだと思います。「クマのあたりまえ」という話の中で、子グマは初めて「死」に向き合いました。私も「死ぬ」ということを考えると、とても怖くなります。だけど、普段あたりまえにしている様々なことは、命があるからこそ、できたり、感じたりするのだと改めて分かりました。生きていく中で、大変なこと、楽しいこと、悲しいことはたくさんあります。でも、それこそが幸せなことだと思いました。お父さんやお母さんが命を大切にしてくれて、私の命があります。だから、私はこれからも命を大切にし、生きていることが幸せだと思いながら、日々を過ごしていきたいです。（５－３　　）『クマのあたりまえ』

「お母さんへの手紙」を学習して分かったことは、自分の事を思ってくれている人がたくさんいると知って、今までよりもっと命を大切にしないといけないということです。また、自分の命だけでなく、家族の命、友だちの命等一人一人の命も大切にしていきたいです。これからは、家族みんなで協力して支え合って生きていきたいです。だから、病気にかかって家族を心配させないように、自分で健康にも気をつけて病気にかからないようにしたいです。

さらに、友だちの事も大切にするために、相手の気持ちになって、やっていい事・悪い事を考えながら、みんなと遊んだり生活したりして、自分の命、家族の命、友だちの命を大切にしていきたいです。（６－１　　）『自分だけの命じゃない』



２年生　町たんけん



『町たんけんに行って』２年１組

ぼくは、町たんけんでそうじをしている人を見ました。西まつやのよこのウエステージで見ました。ちりとりとほうきをもっていたので、そうじをしているのだと思いました。とてもたいへんそうだったので、「がんばってください。」と言ったら、「はい！」と、言ってくれたのでうれしかったです。秋になっても、その人はそうじをしてくれているのだと思います。ほんとうに「ありがとう。」と、言いたいです。

『町たんけんに行った』２年２組

わたしは、町たんけんに行って聞こえた音や見たことをお知らせします。

まず、町たんけんで見たことは、こうばんです。そのときたまたまおまわりさんを見てバイクにのってどこかへいくところでした。かっこよかったです。聞こえた音は、ことりのなきごえのピーピーという音ときゅうきゅうしゃのピーポーピーポーという音もしました。

これからはおまわりさんをよく見て、まなんで大人になって、おまわりさんみたいにたよられる人になりたいです。



『ふしぎな木がいっぱい』２年３組

わたしは、町たんけんで大としじんじゃに行きました。

しずかにしてみると、鳥のなきごえがしました。鳥は見えなかったけど、すずめっぽいなきごえでした。とてもきれいなこえでした。なかまをよんでいるみたいでした。

大としじんじゃのほかにも町たんけんをしたいです。あきには、どうかわっているか、あきの町たんけんがとてもたのしみです。

6月14日~6月15日　4年生 野外活動



『野外活動』　４－１

野外活動は、成功でした。みんなで挑戦し、みんなで楽しんで、みんなと協力できたからです。これからも「自立・共生・創造」の目標を意識して達成できるような、いい学年にしていきたいと思います。次の自然学校も、この野外活動の経験をいかして、がんばりたいです。

『野外活動を終えて』　４－２

ぼくが、自立・共生・創造ができたと思うところは３つあります。

そのうちの１つは、野外炊飯です。一人もしおりを持って来ずにこまりましたが、みんな少し覚えていたので、それを教え合ったりして自分の仕事をこなすことができました。みんなで協力したカレーは、家で作ったカレーとは違う味でおいしかったです。

この活動をいかして、来年の自然学校では今年よりいい自然学校にしたいと思います。

『野外活動に行って』　４－３

キャンドルサービスでは、クラスからちかいの言葉がありました。最初は、緊張して、あまり声がでなかったけど、この野外活動を成功したかったので、ゆう気をだして言いました。少し言葉がつまった所もありましたが、言えてよかったです。この、野外活動を通して自分は、前よりもっともっと成長できたと思います。

